

16 章 20 節 「しかし平和の神がサタンを踏み砕くことになります、速やかにあなたが足の下にです。どうか、私たちの主イエス(キリスト)の恵みが、あなたがたとともにありますように」

16 章 21-23 節 「21 あなたがたに挨拶しています、私の同労者テモテが、また私の同胞、ルキオとヤソンとソシパテロが。 22 あなたがたに挨拶申します、この手紙を筆記した私テルティオも、主にあつて。 23 あなたがたに挨拶しています、ガイオが、彼は私の家主(ホスト)です、またすべての教会(単数)にとっての。またあなたがたに挨拶しています、市の会計係エラストと兄弟クアルトも」

16 章 25-27 節 「25 あなたがたを強くする(確立する)ことができる方、私の福音、すなわち、イエス・キリストを伝える宣教によって、また、世々にわたって隠されていた奥義の啓示によって、 26 さらに、預言者たちの書を通して今や明らかにされ、また永遠の神の命令にしたがい、すべての異邦人に信仰の従順をもたらすために知らされたことによって。 27 唯一の知恵に富む神に、イエス・キリストを通して、栄光がとこしえまでありますように。アーメン。」

< 関連引用聖句 >

(Ⅱペテロ3:16)「その中には理解しにくいところがあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所と同様、それらを曲解して、自分自身に滅びを招きます」

(ローマ 6:15,16)「では、どうなのでしょう、『私たちは罪を犯しましょう!』とでも、それは『私たちは律法の下にはいません、恵みの下にいます』ということであれば? 決してそのようなことはありません。 16 あなたがたは知らないのですか、あなたがたは自分を服従へと献げるなら、あなたがたは従う相手の奴隷です。それは死に至る罪の奴隷か、あるいは義に至る従順の奴隷かです」

(創世記 3:15)「神である主(ヤハウェ)は蛇に言われた…『わたしは敵意を…おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ』」

(イエスの御名による祈り)「イエス・キリスト神の御子、この私をあわれんでください」

(使徒15:36-16:3) ³⁶「それから数日後、パウロはバルナバに言った。『さあ、先に主のことばを宣べ伝えたすべての町で、兄弟たちがどうしているか、また行って見て来ようではありませんか。』³⁷ バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネと一緒に連れて行くつもりであった。³⁸ しかしパウロは、パンフィリアで一行から離れて働きに同行しなかった者は、連れて行かないほうがよいと考えた。³⁹ こうして激しい議論になり、その結果、互いに別行動をとることになった。バルナバはマルコを連れて、船でキプロスに渡って行き、⁴⁰ パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて出発した。⁴¹ そしてシリアおよびキリキアを通り、諸教会をカづけた。 16:1 それからパウロはデルベに、そしてリステラに行った。すると、

そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ人女性の子で、父親はギリシア人であった。² 彼は、リステラとイコニオンの兄弟たちの間で評判の良い人であった。³ パウロは、このテモテを連れて行きたかった。それで、その地方にいるユダヤ人たちのために、彼に割礼を受けさせた。彼の父親がギリシア人であることを、皆が知っていたからである。」

(Ⅱテモテ1:5)「私はあなたのうちにある偽りのない信仰を思い起こしています。その信仰は、最初あなたの祖母ロイスと母ユニケのうちに宿ったもので、それがあなたのうちに宿っていることを確信しています」

(ローマ1:11)「私はあなたがたに切に会いたいと望んでいます、それは御霊の賜物(カリスマ)をいくらかでも分け与えるためであり、それによってあなたがたを強くする(確立する)ためです」

(ローマ2:16)「その日に、神が人々の隠されたことをさばかれます、私の福音によれば、キリスト・イエスを通してです」

(ローマ1:16,17)「私は福音を恥としません。それは神の力です、それは信じる者すべてに救いをもたらすものです、ユダヤ人をはじめギリシア人にも。 17 それは、神の義がそこ(福音)に啓示されているからです、それ(神の義)は信仰(真実)から(に始まり)信仰(真実)に(進ませます)。それは『義人は信仰(真実)によって生きる』と書いてあるとおりです」

(ローマ11:25,26)「私はあなたがたに知らないでいて欲しくはありません、兄弟たちよ、この奥義に関して。それは、あなたがたが自分を知恵ある者としないうためです。それ(奥義の内容)は、イスラエルの一部の頑なさが生まれたのは異邦人の満ちる時が来るまでであること、26 またそれによって、すべてのイスラエルが救われることです」

(エペソ 1:10)「その奥義とは……時が満ちて計画が実行に移され、天にあるものも地にあるものも、一切のものが、キリストにあつて、一つに集められることです」

(コロサイ 1:27)「奥義とは、あなたがたのうちにおられるキリスト、栄光の望みのことです」

(ローマ 15:18)「異邦人を従順にするために、キリストが私を通してなしてくださった」

(申命記 6:4,5)「聞け、イスラエルよ。主(ヤハウェ)は私たちの神、主(ヤハウェ)は唯一である。心を尽くし、たましい(精神)を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい」

(ローマ 11:33-36)「ああ、何と深いことでしょう、神の知恵と知識の豊かさは……すべてのものがこの方から発し、この方によって成り、すべてがこの方に至るからです。どうかこの方に、栄光がとこしえにありますように、アーメン」

(Ⅰコリント 2:16)「『だれが主の心を知り、主に助言するのでしょうか。』しかし、私たちはキリストの心を持っています」

(マタイ 5:17)「わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思つてはなりません。廃棄するためではなく、成就するために来たのです」